

こだわりの土づくりで美味しい野菜を周年栽培

あきたで生きる～秋田の地域資源を活用し、秋田で暮らし、秋田を活かす取組～



ガイアガーデン(秋田農場)
(秋田市)

代表 菅原 雄(すがわら ゆう)

経営概況

経営面積 | 露地: 畑8a、施設: ハウス 15 棟
作物 | えだまめ、ケール、ミニトマトなど
年間 50 品目

構 成 員 | 2名ほかアルバイト数名
販 売 先 | 直売所や県内の小売事業者、
飲食店、通販ほか



ガイアガーデン Instagram



ガイアガーデン facebook

秋田市郊外にある農場の農業用ハウスと露地で、多品目野菜の周年栽培に取り組む認定農業者がいます。こだわりの土づくりで作物にとって生育しやすい環境を整え、美味しい野菜づくりに励んでいます。毎日、午前中に収穫した野菜を販売先の直売所や小売事業者等へ自ら納品し、新鮮な野菜を消費者の皆さんへ届けています。

▶ きっかけ

菅原さんは、秋田県立農業短期大学を卒業後、他業種に 15 年間勤務していましたが、農業に携わる人がどんどん減っていく状況から、自分にもチャンスがあるのではと思い、平成 26 年4月に就農しました。翌年に、秋田市郊外の農地を借り受け、「ガイアガーデン(秋田農場)」を設立しました。比較的住宅街に近く、都市近郊型の農業経営が可能な環境に魅力を感じたそうです。



ビニールハウスの様子

▶ 取組

「土づくりがしっかり出来ていれば、どんな野菜も高品質に作ることが出来る。」と考え、こだわりをもって土づくりをしています。地域で豊富にある籾殻や米ぬかなどの天然資材を活用した植物性堆肥と、米ぬかや大豆粕で作ったボカシ肥料を中心に施用し、土壌微

生物を活性化させ、作物にとって生育しやすい土壌環境を整えています。

日々変わる天候と野菜の生育状況を見て、肥料の量やタイミングなど使い方を意識して、「トライ&エラー」を繰り返しながら野菜作りをしているそうです。

直売所や小売事業者などへの直接販売に対応するため、少量多品目の野菜を栽培し他の農家との差別化を図っています。



小さい子供に人気の真っ赤なミニトマト

また、日頃から秋田市園芸振興センターなどの研修生の受け入れや市民向けの野菜の栽培指導など、担い手育成や農業の普及に関わっています。

さらに農業ファンの裾野を広げるため、幼稚園児や近隣の住民などを対象にした収穫体験を開催しており、特に参加した子供たちには「美味しい野菜を知って欲しい。」との思いを持って取り組んでいるそうです。



一年を通して出荷されるケール

▶ これから

「目で見ただけの情報はすぐに忘れるが、五感で味わった体験はずっと残る。」との思いから、栽培情報を SNS など発信するだけでなく、消費者の方から農場に足を運んでもらい、収穫など可能な限り農業を体験して欲しいと考えているそうです。これからも農業体験の受け入れと、土づくりにこだわった美味しい野菜を食卓に届けたいと話されていました。



左から学生アルバイトの兵藤さん、菅原さん、社員の金澤さん

